

表紙の題字は私が書きました

小さな町でも



播磨西小学校 6年
いけべ かんた
池邊 勘太さん
の作品です

播磨町に住んで12年が過ぎ、あることをふと考えた。「僕が思う播磨町とはなんだ」という風に。播磨町は静かで、自然もある。子供たちは元気で、いつも笑顔だ。大人たちは、とても優しい。だから、いつも笑顔でいられる。播磨町のとてもいいところだ。みなさんは、播磨町のとてもいいところは何かと思いますか？きつと僕が考えた他にもあると思いますよ！

僕は今の播磨町も良いけど、未来はもっと発展した播磨町になっていると思います。そのために、今住んでいる人たちに、今のよいところを未来へとつないで、よりよいものを作り出してほしいです。例えば、公園の清掃を清掃員さんに任せるだけではなく、みんなが取り組みやすいことです。

播磨町は小さい町だけど、住んでいる人の心はとても大きいです。これからも、よりよい播磨町を目指して、みんなができることをして、みんなが幸せに暮らしてほしいです。

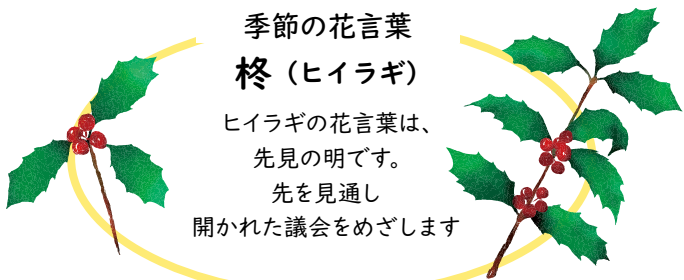
～来たる年への希望を込めた音色～



季節の花言葉 柊 (ヒラギ)

ヒラギの花言葉は、
先見の明です。
先を見通し

開かれた議会をめざします



ざんじ
きゅうけい



2025年が始まりました。さまざまなものをHalfやQuarterで区切りますので、この25は一つの単位となっています。

半期・四半期という事で21世紀も4分の1、Quarter Centuryを迎え、節目となります。

そして巳年。一般的なイメージではあまり出会いたくない生き物の一つですが、蛇は脱皮を繰り返して成長することで「再生」「変化」を象徴し、縁起が良い生き物とされ、神の使いとしても信仰されてきました。

この「変化」する「節目」の年始めに、皆さんは何をしようと誓ったことでしょう。始める、変える、達成するという目標に対し、好機を

「流星光底逸長蛇」

一瞬の際に逃してしまっただ、ということがないように捉えていきたいものです。

(細田)